

銘柄コード 7564

2018年3月期 第3四半期決算説明会



株式会社 ワークマン
2018年2月8日 開催

- ・第3四半期決算の概要P3~P9
- ・2018年3月期決算の見通しP10~P12
- ・取組み状況P13~P17
- ・第3四半期決算の詳細P18~P22

第3四半期決算の概要

2018年3月期決算の見通し

取組み状況

第3四半期決算の詳細

決算の概要1

第3四半期累計期間 4月～12月



<単位:百万円、%>

	2017年3月期		2018年3月期	
	第3四半期累計期間		第3四半期累計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	58,189	+5.0	62,441	+7.3
(既存店売上高)	—	+3.0	—	+4.7
営業総収入	40,429	+4.7	43,500	+7.6
販売費及び一般管理費	6,787	+8.2	7,388	+8.9
営業利益	7,801	+8.9	8,503	+9.0
経常利益	8,676	+8.3	9,402	+8.4
特別損失	38	+386.3	6	△82.1
四半期純利益	5,420	+15.1	5,843	+7.8
1株当たり四半期純利益	132円85銭		143円22銭	

<単位:百万円、%>

	2017年3月期		2018年3月期	
	第3四半期会計期間		第3四半期会計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	22,708	+7.4	25,484	+12.2
(既存店売上高)	—	+4.5	—	+10.0
営業総収入	15,916	+6.2	17,464	+9.7
販売費及び一般管理費	2,385	+8.4	2,636	+10.5
営業利益	3,482	+12.5	3,910	+12.3
経常利益	3,788	+11.6	4,237	+11.8
特別損失	2	△29.3	—	—
四半期純利益	2,439	+24.4	2,666	+9.3
1株当たり四半期純利益	59円78銭		65円34銭	

第3四半期決算のポイント

出店状況

- 開店 23店舗、閉店 6店舗、スクラップ&ビルド 4店舗(既存店の活性化)
- 2017年12月末 814店舗
(2017年3月末比 +17店舗、2016年12月末比 +22店舗)

店舗運営形態

- フランチャイズ・ストア(FC店舗)2017年12月末 692店舗(2016年12月末比 +33店舗)
- 直営店:業務委託店舗 100店舗、トレーニング・ストア 22店舗 合計 122店舗
- フランチャイズ・ストア比率 85.0%(2016年12月末比 +1.8ポイント)

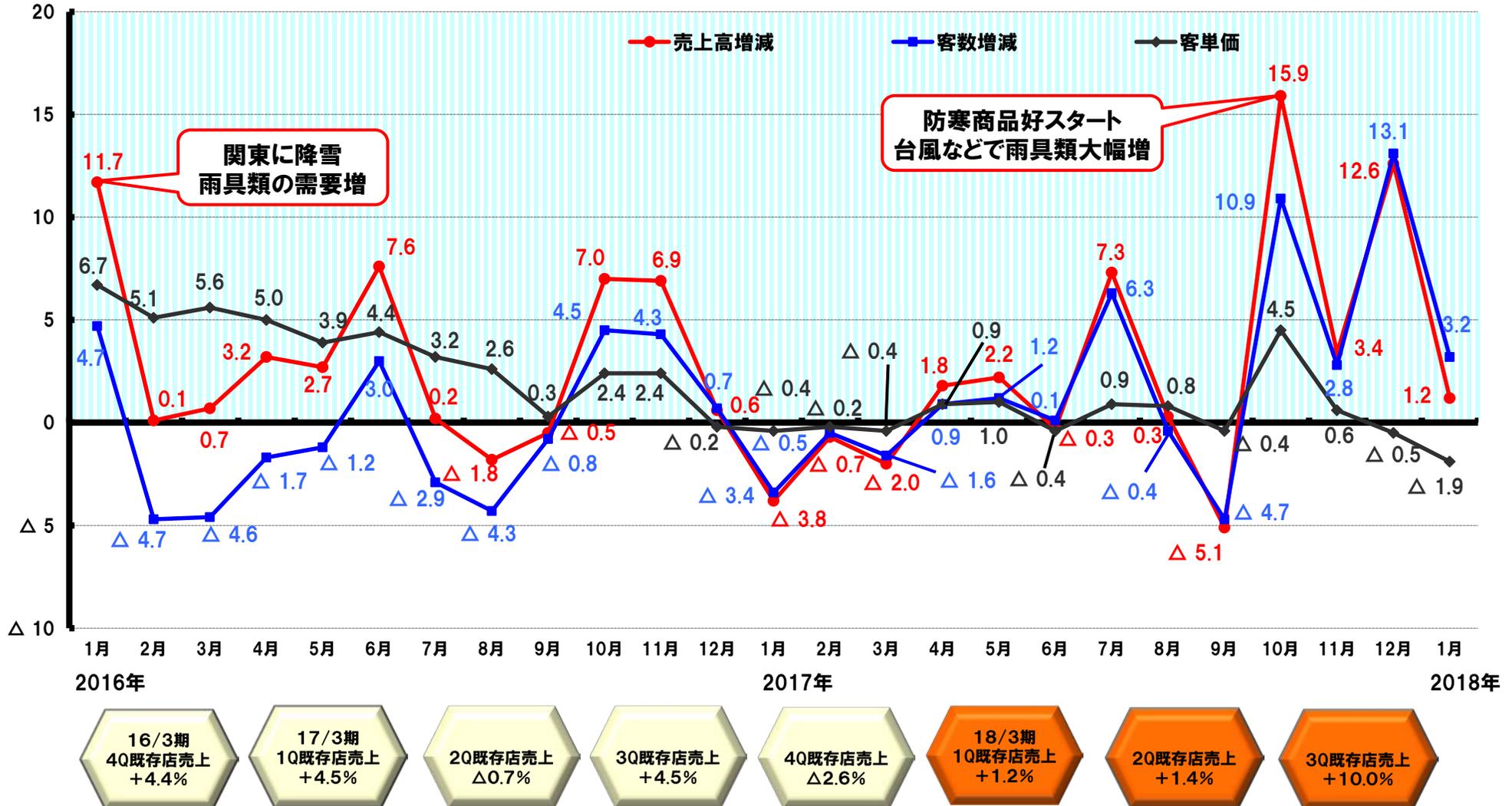
販売強化

- 「Gx1.5プロジェクト」の推進 ⇒ 法人営業強化
- 企業向け作業服「WM CRAFT」、高機能ウェア「イージスシリーズ」、「ウォームパンツ」などプライベート・ブランド(PB)商品 715アイテムを展開
・PB商品売上高 199億 88百万円(前年同期比+32.3%)、PB比率 32.1%
- テレビCM、チラシや店内POPなど販促媒体と商品が連動した売り場づくりで売上向上を図る
- マスコミ・ブロッガー向け商品発表会開催 ⇒ メディア戦略を展開し客層拡大を推進

月次推移と要因

■ 既存店売上・客数・客単価月次増減

<前年同月比、%>



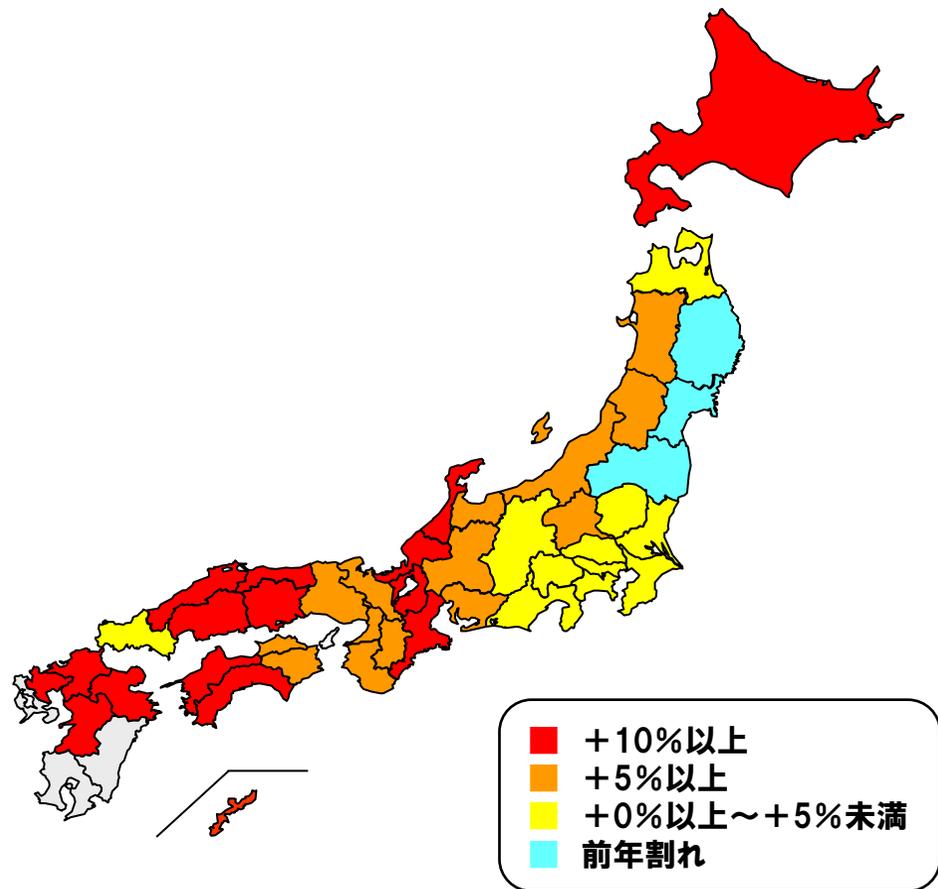
16/3期 4Q既存店売上 +4.4%	17/3期 1Q既存店売上 +4.5%	2Q既存店売上 △0.7%	3Q既存店売上 +4.5%	4Q既存店売上 △2.6%	18/3期 1Q既存店売上 +1.2%	2Q既存店売上 +1.4%	3Q既存店売上 +10.0%
---------------------------	---------------------------	------------------	------------------	------------------	---------------------------	------------------	-------------------

チェーン全店売上高 624億円

	チェーン全店	既存店
売上高	+7.3%	+4.7%
客数	+6.4%	+3.6%
1日当たり平均客数	—	112人 (+4人)
客単価	2,644円	2,654円
	+0.8%	+1.0%
1品単価	968円	969円
	+0円	△1円
1人当たり買上点数	2.7点	2.7点
	+0.0点	+0.0点

※1日当たり平均客数は、運営形態により営業日数が異なる為、概数を記載しております。

■ 県別既存店前年同期比



商品別売上高と要因

■チェーン全店商品別売上高

<単位:百万円、%>

商品別	2017年3月期 第3四半期累計期間		2018年3月期 第3四半期累計期間		要因
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	
ファミリー衣料 肌着・靴下・帽子・タオル・ エプロン等	5,718	+9.6	6,024	+5.3	靴下 +13.5% 防寒肌着 +14.6%
カジュアルウエア ポロシャツ・Tシャツ・ハイネック シャツ・ブルゾン等	6,875	+12.4	7,515	+9.3	サマーコンプレッション +19.6% 防寒ブルゾン +86.6%
ワーキングウエア 作業ジャンパー・作業ズボン・ つなぎ服・蔦衣料等	16,883	+7.0	19,077	+13.0	作業着 +8.1% サマーワーキング +30.9% 防寒ワーキング +45.0%
履物 安全靴・安全スニーカー・地下足袋 長靴・厨房シューズ等	11,092	+1.4	11,174	+0.7	軽作業靴 +2.6% 長靴 △2.5%
作業用品 軍手・革手袋・加工手袋・レインウエア・ ヤッケ・ヘルメット・マスク等	15,857	+0.8	16,822	+6.1	レインウエア +8.3% ヤッケ +19.0% 防水防寒スーツ +47.9%
その他 食品白衣・医療白衣・女性用品 オフィスユニフォーム・不織布作業服等	1,762	+7.3	1,826	+3.6	女性用品 +20.1% 不織布用品 +4.4%
合計	58,189	+5.0	62,441	+7.3	

第3四半期決算の概要

 **2018年3月期決算の見通し**

取組み状況

第3四半期決算の詳細

決算の見通し

<単位:百万円、%>

	2017年3月期		2018年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比
チェーン全店売上高	74,291	+4.0	77,260	+4.0
(既存店売上高)	—	+1.7	—	+1.8
営業総収入	52,077	+5.0	54,249	+4.2
販売費及び一般管理費	9,143	+9.3	9,601	+5.0
営業利益	9,553	+8.5	10,124	+6.0
経常利益	10,735	+7.9	11,293	+5.2
特別損失	97	—	76	△21.3
当期純利益	7,142	+14.6	7,397	+3.6
1株当たり当期純利益	175円03銭		181円29銭	
1株当たり配当金	53円00銭		53円00銭	

決算の見通しポイント

■ 業績予想に対する進捗状況

	第3四半期
チェーン全店売上高	80.8%
経常利益	83.3%
純利益	79.0%

■ 出店とフランチャイズ・ストア店舗数予定

・開店 30店舗、閉店 6店舗、スクラップ&ビルド(既存店の活性化) 4店舗

期末店舗数合計 821店舗(前期比 +24店舗)

・フランチャイズ・ストア 694店舗(前期比 +34店舗)

・フランチャイズ・ストア比率 84.5%(前期比 1.7ポイント上昇)

■ フランチャイズ・ストア荒利率 35.5%を想定

純利益 73億円 前期比 +3.6%

純利益ベースで 7期連続の過去最高益達成へ

第3四半期決算の概要

2018年3月期決算の見通し

 **取組み状況**

第3四半期決算の詳細

出店状況

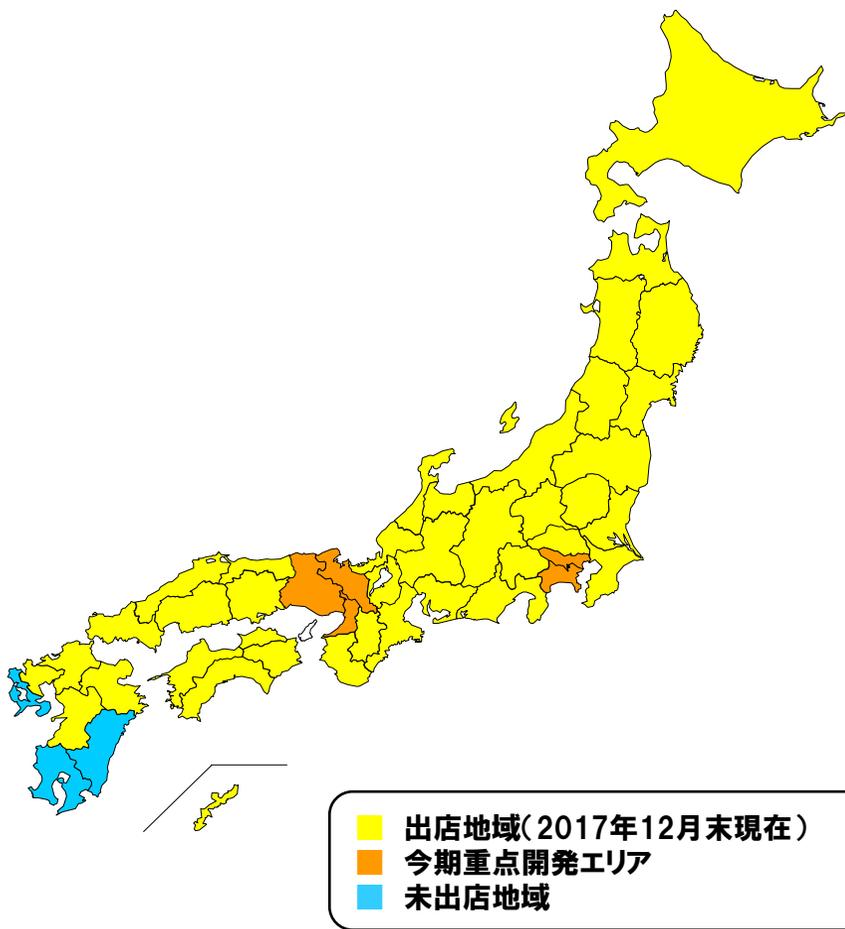
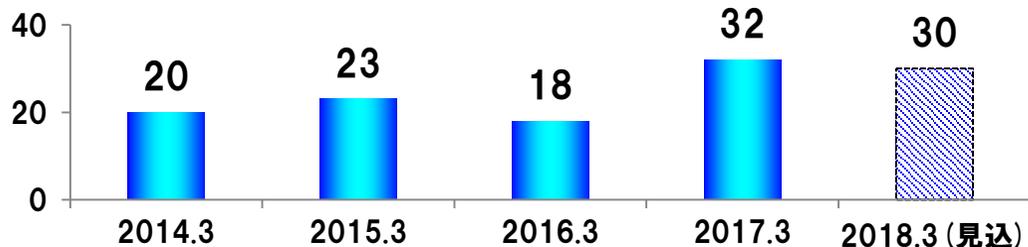
2017年12月末 44都道府県に814店舗を展開

新規出店状況 ※スクラップ&ビルド除く

<店舗数>

	4月～1月 出店実績	通期	来期開店予定 契約済物件
北海道・東北	3	3	3
関東	3	3	0
中部	7	7	1
近畿	4	5	0
中国	0	0	0
四国	3	5	0
九州・沖縄	5	7	3
合計	25	30	7

直近5年の年間出店数推移 ※スクラップ&ビルド除く



フランチャイズ(FC)化の推進

個店売上の向上と加盟店契約の促進でフランチャイズ化を推進

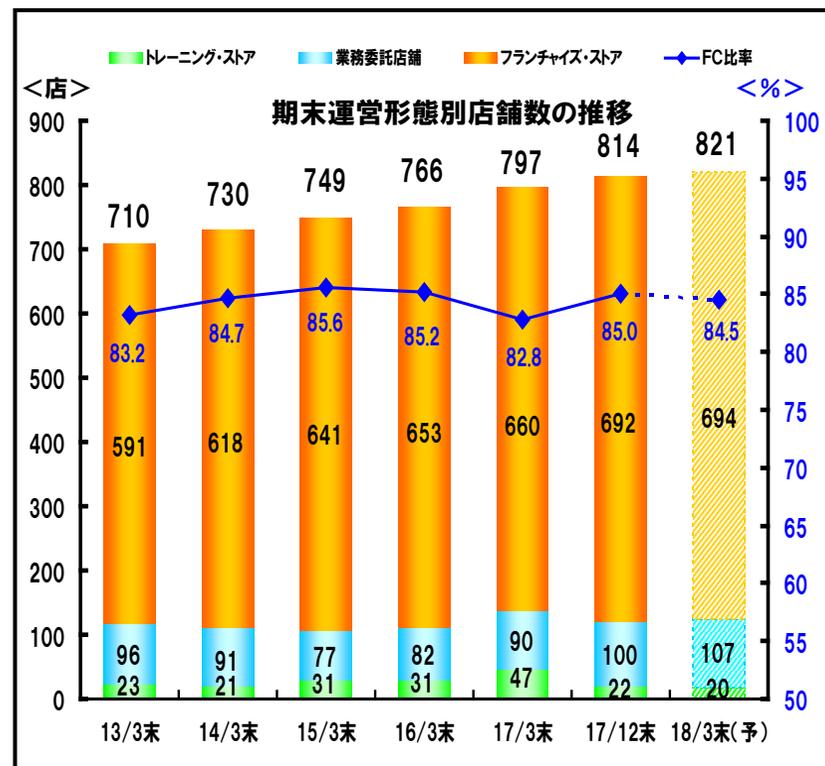
■ フランチャイズ・ストア化状況

4月～12月の店舗運営形態の推移(開店含む)

<店>

	増加	減少	増減合計
フランチャイズ・ストア (内業務委託契約からの変更)	+70 (29)	△38	+32
業務委託店舗	+44	△34	+10
トレーニング・ストア	+31	△56	△25

※2017年3月末時点との比較



■ 加盟店契約の促進策

店長後継者紹介制度の改定、パート・アルバイト独立支援制度、初期投資金額(保証金)の減額

ホームページの加盟店募集ページを見直し ⇒ 参加しやすい環境を整備

プライベート・ブランド(PB)商品

高機能ウェアの開発・販売で客層拡大を図る

- 2018年3月期計画
 - ・PB商品売上高 240億円(前期比 25%増) PB比率 30%
- 2017年4月～12月実績
 - ・PB商品売上高 199億 88百万円(前年同期比+32.3%)
 - ・PB比率 32.1%(前年同期比+6.0ポイント)
- ブランド別販売状況(2017.4月～12月)

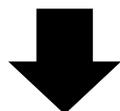


ブランド名	アイテム数(前年)	販売点数 (前年同期比)	販売金額 (前年同期比)
アウトドア向け「 FieldCore 」	35 (18)	110万点 (+98.0%)	26億96百万円 (+85.4%)
スポーツ向け「 Find-Out 」	29 (14)	75万点 (+150.6%)	8億27百万円 (+140.4%)
高機能防水「 AEGIS 」	17 (7)	23万点 (+239.3%)	8億25百万円 (+107.5%)
合計	81 (39)	208万点 (+125.5%)	43億49百万円 (+98.0%)

法人企業向け営業強化

「Gx1.5プロジェクト」の推進

フランチャイズ・ストア平均年商 1億円



本部による法人営業支援

フランチャイズ・ストア平均年商 **1.5億円の実現**

■本部による加盟店支援策 進捗状況

- ・法人営業に対応したPB商品
 - ⇒春夏ワーキング「WM COOL」前年同期比 30.5%増
 - ⇒年間ワーキング「WM CRAFT」販売点数 11万着(12月末)
- ・ワークマンカタログのダイレクトメール発送
 - ⇒発送部数 8.2万部、1店当たり約100部
- ・顧客管理システム全店稼働(2017年10月)
- ・店舗需要予測発注システム 2019年4月全店稼働予定



「WM CRAFT」
上下で税込3,000円
SS~5Lのサイズ展開

効率的な営業活動をフォロー

第3四半期決算の概要

2018年3月期決算の見通し

取組み状況

● 第3四半期決算の詳細

貸借対照表1

<単位:百万円>

資産の部	2017年 3月期末	2018年3月期 第3四半期末	増減	増減要因
流動資産	47,848	49,409	1,561	
現金及び預金	34,048	36,778	2,730	営業活動によるCF 80億86百万円 投資活動によるCF △31億17百万円 財務活動によるCF △22億38百万円
加盟店貸勘定	5,969	5,526	△442	対象店舗が23店舗減少(594店舗→571店舗)
商品	6,634	5,839	△794	店舗在庫 4億62百万円減少、流通センター在庫 1億20百万円減少、 海外仕入の未着商品 2億52百万円減少、直販部在庫 17百万円増加 オンラインストア在庫 23百万円増加
固定資産	20,915	21,065	150	
有形固定資産	14,458	14,902	444	
建物(純額)	7,457	7,851	394	出店・閉店状況 出店27店舗(S&B4店舗を含む)、閉店6店舗
土地	3,988	3,988	—	出店形態 建物リース4店舗、土地リース23店舗
その他(純額)	3,012	3,062	50	
構築物(純額)	1,198	1,303	105	
工具・器具・備品(純額)	805	805	0	
リース資産(純額)	969	933	△36	当第3四半期対象店舗1店舗
建設仮勘定	27	10	△16	
無形固定資産	321	284	△36	
投資その他の資産	6,135	5,879	△256	
差入保証金	4,822	4,536	△286	建物リース契約での地主への建設協力金の差入
資産合計	68,763	70,475	1,712	

貸借対照表2

<単位:百万円>

負債/純資産の部	2017年 3月期末	2018年3月期 第3四半期末	増 減	増 減 要 因
流動負債	11,709	10,053	△1,656	
買掛金・加盟店買掛金	3,974	3,105	△869	
未払法人税等	1,966	1,849	△117	
その他	4,379	3,719	△660	
未払金	3,639	2,067	△1,571	新伊勢崎流通センター建設代金 20億47百万円減少
仮受消費税等	—	593	593	
固定負債	3,299	2,964	△335	
長期預り保証金	1,192	859	△332	1契約150万円を100万円に減額
資産除去債務	962	1,006	43	
その他	1,144	1,097	△47	
リース債務	1,116	1,077	△39	当第3四半期対象1店舗
負債合計	15,009	13,017	△1,991	
株主資本	53,752	57,432	3,680	
純資産合計	53,754	57,458	3,704	自己資本比率81.5% 3.3ポイント上昇
負債純資産合計	68,763	70,475	1,712	

損益計算書1

<単位:百万円、%>

	2017年3月期 第3四半期累計期間		2018年3月期 第3四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
営業収入	10,532		11,279		+7.1	
加盟店からの収入	8,111		8,945		+10.3	加盟店期中平均店舗数 前第3四半期 653店舗、当第3四半期 675舗 22店舗増 加盟店売上高 前第3四半期 521億29百万円、当第3四半期 556億51 百万円 6.8%増 荒利率・・・前第3四半期35.5%、当第3四半期35.8%
その他の営業収入	2,421		2,334		△3.6	国内メーカーからの仕入高(直買仕入等を除いた)前期比0.6% 減で業務受託収入61百万円減少、賃貸料収入14百万円減少
売上高	29,896		32,220		+7.8	
直営店売上高	6,060	(100.0)	6,789	(100.0)	+12.0	直営店期中平均店舗数131店舗(8店舗増)
加盟店向け商品供給売上高	23,835		25,430		+6.7	加盟店売上高 前年同期比6.8%増
営業総収入	40,429	100.0	43,500	100.0	+7.6	
売上原価	25,840	63.9	27,608	63.5	+6.8	
直営店売上原価	2,004	5.0	2,177	5.0	+8.6	
加盟店向け商品供給売上原価	23,835	59.0	25,430	58.5	+6.7	加盟店向け商品供給売上高と同額を計上

損益計算書2

<単位:百万円、%>

	2017年3月期 第3四半期累計期間		2018年3月期 第3四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
売上総利益	(4,055)	(66.9)	(4,611)	(67.9)	+13.7	
営業総利益 (営業収入+売上総利益)	14,588	36.1	15,891	36.5	+8.9	
販売費及び一般管理費	6,787	16.8	7,388	17.0	+8.9	増減要因 人件費 約1億12百万円増加 販売費 約21百万円増加 直営店期中平均店舗数増加(8店舗) 約96百万円増加 流通センター運営費用 約2億10百万円増加 旅費交通費等一般管理費 約1億78百万円増加 採用費等一般管理費 約17百万円減少
営業利益	7,801	19.3	8,503	19.5	+9.0	
営業外収益	922	2.3	944	2.2	+2.4	
営業外費用	46	0.1	45	0.1	△3.9	
経常利益	8,676	21.5	9,402	21.6	+8.4	
特別損失	38	0.1	6	0.0	△82.1	減損損失 営業店1店舗、返却予定店舗1店舗で約1百万円 固定資産除却損 閉店1店舗、店舗入口看板交換で約5百万円
四半期純利益	5,420	13.4	5,843	13.4	+7.8	

本資料お取扱に関してのお願い

- 本資料は弊社をご理解いただくために作成したもので、弊社への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願い致します。
- 本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、弊社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- 本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられることから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

**説明会にご出席いただき
ありがとうございました。**



株式会社ワークマン

銘柄コード: 7564(JASDAQ)

お問い合わせ先: 財務部IRグループ

TEL: 03-3847-8190

E-mail: wm_seibi@workman.co.jp

<http://www.workman.co.jp/>